

木に触れ、木を楽しもう

～カホンを作って、演奏しよう～

津市立櫛形小学校



ねらい

- ・ 木工製作を通して、木の特性を知り、木と触れ合い親しむ。
- ・ 日常で使えるものを手作りすることで、木製製品に愛着を持つ。
- ・ 地域の木を使うことの大切さを理解する。

はじめに、子どもたちは、三重県農林水産部発行の森林環境教育副読本「三重の森林とわたしたちのくらし」を活用して、森林のはたらきや大切さ、緑の循環について理解を深め、地域の木を使うことが地域の森林を元気にすることを学びました。また、三重県では平成 26 年度から「みえ森と緑の県民税」を導入し、災害に強い森林づくりと県民全体で森林を支える社会づくりを進めている話も聞きました。

次に、大工である講師から、かなづちやカンナの使い方の説明を聞き、カンナがけを体験した後、三重県産のスギ材を使って、くぎ打ちやカンナがけ、サンドペーパー磨きを行い、カホンを製作しました。途中、講師が教えてくれた、年輪や木表・木裏などについてのお話は、子どもも保護者も興味深く聞いていました。

完成後、講師からカホンの基本のたたき方を教わり、みんなでカホンを演奏しました。

プログラム概要

| | |
|----|----------------------------|
| 内容 | ・ 森のお話 ・ カホン作り |
| 時間 | 2 時間 15 分 |
| 場所 | 小学校図工室 |
| 対象 | 6 年生 21 人とその保護者 |
| 講師 | 森のせんせい：高橋一浩氏 |
| 備考 | 「みえ森と緑の県民税」を活用した森林環境教育出前授業 |

